



To 松本エリアのイクママ&イクパパ From 松本市立病院

市立病院通信

医療スタッフ
リレーコラム

第5回 妊娠中に注意すべき感染症…トキソプラズマ



院内でおこなわれる人気のマ
マフィット。赤ちゃんたち
も元気に動き回っています

■松本市立病院の産科・小児科医師、助産師、栄養士などの医療スタッフが、それぞれ専門の立場で執筆を担当。地域のママ・パパ(ブレママ・ブレパパ)に向けて、お知らせしたい医療情報や旬の話題などを月替わりでお届けします。

妊娠初期検査に含まれていることが多いトキソプラズマ抗体検査ですが、トキソプラズマ感染についてご存知ない方も多いのではないのでしょうか。

トキソプラズマ症とは、**トキソプラズマという寄生虫による感染症**です。トキソプラズマに感染している猫の糞や加熱不十分の肉(豚、羊、馬、鳥など)を経口摂取することにより、ヒトへ感染します。感染すると、一時的に発熱、発疹、頸部リンパ節腫脹などの症状が出ることもありますが、健康な人の場合多くは無症状で感染に気づきません。

よって、普段は特別心配することのない感染症ですが、**妊娠中に初めて感染すると、胎盤を通して赤ちゃんにも感染する可能性があるため、注意が必要**です。

赤ちゃんへの感染率は**妊娠15週～30週で約20%、31週以降で60～70%**と高くなりますが、妊娠中期以降では不顕性感染(感染しても症状が出ない)や軽症が多くなります。一方、妊娠初期では感染率は10%以下と低いものの、症状はより重症(流産、脳内石灰化、水頭症、脈絡網膜炎、精神運動障害)になる傾向があります。

先天性トキソプラズマ症の**1～2%に知的障害が生じ、4～27%に両側性の視力障害が生じる**とされています。また先天性トキソプラズマ症では、出生後症状がなくても、脳や眼の検査で異常所見を認めることがあり、出生時には無症状であった場合でも、思春期頃までに症状が出る可能性があります。

世界的には人口の1/3以上がトキソプラズマに感染していると推測されていますが、感染率は地域によって異なります。日本におけるトキソプラズマ抗体の陽性率は近年低下傾向にあり、妊婦での抗体陽性率は7～10%程度とされています。

日本で典型的な症状を有するトキソプラズマ症は年間5～10例報告され、妊婦の初感染率(約0.13%)と出生数から、**年間1000～1万人に妊娠中の初感染**が生じ、遅れて症状が出るものも含め、

年間130～1300人の先天性トキソプラズマ症児が出生していると推定されています。抗体保有率の低下や食生活の変化などを反映してか、近年増加傾向にあります。

トキソプラズマは感染の時期が問題となるため、妊娠初期検査で抗体の有無を調べ、抗体を持っている場合には過去の感染なのか、直近の感染なのかを調べます(検査方法は施設によって若干異なります)。そして妊娠中の初感染が疑われる場合には、赤ちゃんへの感染予防や感染した場合の重症化予防を目的として、できるだけ早期から薬の内服治療をすることが勧められています。

しかし薬の効果は十分ではないこともあるため、妊娠中にトキソプラズマに感染しないことが最善です。現在のところ、感染を防ぐワクチンはないため、初期検査でトキソプラズマ抗体が陰性であった場合、妊娠中は

- 野菜や果物は皮を剥くか、よく洗って食べる
 - 食肉は十分に加熱して食べる(肉の中心が67℃以上になることが必要)
 - ガーデニングや土や砂に触れるときは手袋をする
 - 猫との接触に注意する(飼い猫は外飼いにしない、生肉を与えない)
 - 猫の糞尿処理は可能なら避ける
- などの予防が大切です。

ユッケ、レアステーキ、馬刺し、レバ刺し、生ハム、サラミ、ソーセージを食べないように、野良猫に触れないように、注意してお過ごしください。

【今月の担当】

横井 由里子 産婦人科医

平成20年より松本市立病院に勤務。途中3回の産休・育休をいただき、現在は3人の子育てをしながら働いています。育児も仕事も大変ですが、どちらも周囲に支えてもらいながら楽しくやっています。長年イクジイを愛読中。



産科・小児科の病棟は笑顔あふれるやさしい病棟です。働く方、利用される方、さまざまな世代の女性との出会いがあります



MATSUMOTO CITY HOSPITAL
松本市立病院
 Matsumoto City Hospital
 〒390-1401 松本市波田 4417-180
TEL(0263)92-3027(代表)
<http://www.hp-hata.com/>

- 受付時間 8:15～11:30
- 産婦人科は予約制です。詳細は平日の15:30～17:00にお電話でお願いいたします。
- 予防接種受け付けしています。ご相談ください。

このコーナーへのご意見、ご質問がありましたら、お寄せください。また、「こんなテーマでレクチャーして欲しい」といったご要望もお待ちしています。